

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会



本会マスコットキャラクター

「ユ-カリ-ナ」

1 第4次地域福祉活動計画(第4次計画)の推進

誰もが安心して生活できる千種区を目指し、第4次計画(計画期間:令和元年度から5年度)を、区民の皆様をはじめ、関係機関・団体、福祉サービス事業者、行政などと連携しながら推進しました。

新型コロナウイルスの影響もあり、想定どおりの展開ができない状況もありましたが、推進委員の皆様の協力のもと、創意工夫しながら、おおむね予定どおりの取り組みができました。主な取り組みは、下記のとおりです。

(1)「地域デビュー講座」の開催

区民の皆様の地域活動、ボランティア活動の参加促進を目指す「地域デビュー講座」は2回開催しました。講座は、各種ボランティアメニューを掲載した「地域デビュー冊子」を活用し、身体を動かすことなども取り入れ行いました。



三浦雄一郎氏(登山家)応援メッセージ入り「デビュー冊子」



ボランティア吹上での講座(6/29 参加者 30名)

(2)「福祉情報配置店」の設置・「Instagram」の発信

身近な場所で“福祉情報”が入手できるよう、本会広報紙(はなみずきのまちだより)をはじめとする各種福祉情報紙を配架する「福祉情報配置店」は、昨年度から5か所増え、35か所となりました。また、各種福祉情報を週2回程発信する「Instagram」のフォロワー数は、4,000を超えるとともに、Instagramでつながった企業と連携した企画も行いました。



スーパーに設置された福祉情報紙



はつらつ事業で開催した「栄養健康の講座」

(3)「子どもの支援を考える交流会」の開催

子どもの健やかな成長と子育て世代の支援などを旨とし、子ども・子育て関連団体の関係者による交流会を開催しました。

子どもの居場所づくりが議論の中心にあがり、交流会の参加者同士のつながりの中で新たな子ども食堂が開設されました。



10 団体 16 名が参加した交流会 (10/8)

(4)「つながりカルタ交流会」の開催

人や地域とつながることの大切さを呼びかける「交流会」を5回開催しました。区民から“つながり”をテーマに募った川柳に大学生が描いたイラストからなるカルタを使い、楽しみながら地域のサロンやイベントへの参加、人と交流することの大切さを伝えました。



星ヶ丘での交流会 (11/10 参加者 16 名)

(5)「あったかお便り」の郵送

外出機会が減った“ちょっと気になる”高齢者などの見守りと困りごと解決を目的として、「あったかお便り」を郵送しました。お便りは、本会広報紙の発行時期(7.11.3月)に合わせ郵送し、大学生などが作成したメッセージカード、各種福祉情報紙、簡単な工作、困りごとなどがあれば返送いただく一筆箋を同封し、把握した情報の中で支援の必要性があるものについては、関係機関と連携できるようにしました。



約 80 名に郵送したメッセージカード



在宅サービスセンターへ掲示する利用者の作品

2「地域福祉活動」の推進

(1)「地域福祉推進協議会」(推進協)の取り組みに対し、学区担当職員(コミュニティーワーカー)を従前どおり配置し、事業の進め方の相談、プログラムの講師調整を行うなどの支援を行いました。特に、ふれあい給食サービス事業は、依然としてコロナ禍により“会食方式”での実施は難しく、“配食方式”での実施に取り組む学区が増えました。

また、第一線で活動される推進協関係者に集まっていただき、今後の新たな活動展開に向け、他地域での取り組み紹介を行うなどの研修を実施するとともに、給食サービス事業関係者には、保健センター職員による食中毒防止をテーマとした研修を行いました。



推進協研修と食中毒防止研修(2/24 参加者 43 名)

(2)「地域支えあい事業」《市受託事業》は、新たな学区での実施を目指し、推進協関係者へ積極的に働きかけた結果、1月から新たに千石学区で取り組みが始まりました。

また、従前から実施の5学区(千代田橋・自由ヶ丘・富士見台・春岡・内山)については、新たな担い手確保や事業 PR に向けた方策等を協議する活動連絡会議を適宜、開催するとともに、ご近所ボランティアを対象とした研修を行うなどの支援を行いました。



1月から始まった千石学区の地域支えあい事業



活発な議論が行われる活動連絡会

(3)「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」《市受託事業》は、コロナ禍においてのサロンの運営など、サロンに関するさまざまな相談の対応をはじめ、新たなサロン開設のための支援や運営助成金の申請支援などを行いました。また、サロン運営者の知識・技術向上を目指す「研修会」を3回開催するとともに、サロン関連情報を掲載した「サロン通信」を3回発行しました。こうした取り組みは、

「生活支援連絡会」(5月・9月・1月の3回開催)
で議論を重ね、「地域包括ケア推進会議」で報告
しました。



フレイル予防をテーマにした研修会(12/7 参加者 26名)

(4)「高齢者はつらつ長寿推進事業」(はつらつ事業)《市受託事業》は、新型コロナウイルスの影響もあり、中止期間や会場によっては参加人数を半分に分けての二部制開催を余儀なくされることもありましたが、可能な限り参加者の介護予防等につながるプログラムを行いました。また、中止期間中は、音読・体操・脳トレのためのプログラム、簡単にできる折り紙などを自宅に郵送するなど、参加者の見守りと介護予防に努めました。

(5)「寝具クリーニングサービス事業」は、布団を干すことが困難な65歳以上のひとり暮らしの方などを対象に、民生委員の皆様の協力のもと実施しました。

また、花水木鯨城会などの協力のもと、子育てサロン
や保育園などへサンタクロースやトナカイを派遣する
「キラキラ☆サンタ事業」を行いました。



子育てサロンでの「キラキラ☆サンタ事業」

(6)「名古屋市いこいの家事業」《市受託事業》は、言葉や心身の発達の遅れなどが気になる子どもとその保護者を対象に、千種児童館などで親子遊びや相談会などを行いながら、保護者の不安・悩み解消と保護者同士の仲間づくりに努めました。

(7)「福祉関係団体等」への支援として、共同募金配分金を使い、各種福祉活動へ事業助成を行うとともに、区内で活躍するボランティア団体・NPOへ公開プレゼンテーションを行ったうえで事業助成する「ボランティア・NPO応援助成事業」を開催し、地域関係者や大学生など8名のみなさまに審査いただき、6団体に助成しました。

3 「ボランティア活動」の推進

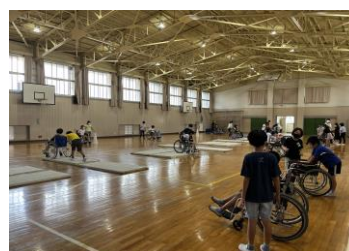
(1)「ボランティアセンター」を運営し、ボランティア活動に関する各種相談をはじめ、需給調整、情報提供、部屋貸しなどを行うとともに、広報なごや区版等の点訳・音訳作業を行うための機器貸し出しなどを行いました。

また、区ボランティア連絡協議会と連携し、子どもたちの学習支援などを行う「しんぼスクール」を児童館で3日間開催しました。

(2)「福祉教育」については、ボランティア団体と連携し、小学校へ出向き、高齢者擬似体験、アイマスク体験などを行い、子どもたちの福祉に関する理解促進に努めました。



しんぼスクールで勉強する子どもたち



車椅子の使い方を学ぶ小学生

(3)「災害ボランティアちくさネットワーク」や区役所などと連携し、大規模災害時に設置される「災害ボランティアセンター」に関する協議を定期的に行うとともに、災害ボランティアセンターの候補先のひとつである区内大学で、設置運営訓練を3月に行いました。

また、区民の皆様への啓発活動として、学校や児童館などに出向いての防災講話をはじめ、毎月1回、体験型の防災企画を行いました。



災害ボランティアセンター設置訓練（3/16 参加者 62 名）



災害時に困る「トイレづくり講習」

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

(1) 本会広報紙を3回発行し、推進協活動やボランティア講座の紹介、いきいき支援センターの各種事業等の発信に努めました。

また、広報紙は、町内会・自治会の皆様の協力のもと、学区の回覧版、各学区のコミュニティセンター、会館をはじめ、区役所、福祉情報配置店などに配架しました。

(2) 「ホームページ」は、常にタイムリーな福祉情報の発信に努めるとともに、「Instagram」での情報発信も積極的に行いました(P1 参照)。

(3) 本会マスコットキャラクター「ユーカリナ」を活用し、Instagramをはじめ、本会が作成する各種冊子・チラシへ区役所マスコットキャラクター「こあらっち」とともに掲載しPRに努めるとともに、新たなグッズとして、多機能ペンを作りました。



新たに製作した多機能ペン（左端）と従来からのグッズ（一例）

(4) 「賛助会費」や「赤い羽根共同募金配分金」は、本会が福祉活動を展開していく上で重要な財源であり、コロナ禍の大変厳しい状況の中、町内会・自治会の皆様や民生委員の皆様の協力をいただきながら財源の確保に努めました。

賛助会費は、従来どおり、使い道などを掲載した学区ごとのチラシを作成しPRするとともに、赤い羽根共同募金は、愛知造形デザイン専門学校と協働で作成したパンフレット(マンガを用いて使い道などを紹介)を使い、PRに努めました



募金パンフレット

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、離職者等に対し、民生委員の皆様をはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関などと連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行いました。

6 「デイサービスセンター」の運営

コロナ禍においても、利用される方々とそこご家族の生活の充実を図るため、感染予防策を徹底し、通所介護事業を行いました。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業などを行いながら、利用者の自立した日常生活の維持・向上に努めました。

また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、愛情たっぷりの手作り料理を提供しました。



調理されるボランティアさん

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営 指定管理事業

名古屋市からの指定管理3年目として、管理運営を行いました。新型コロナウイルスの影響により、両館とも入館人数の制限を余儀なくされることもありましたが、両館ともに、おおむね事業計画どおりの取り組みができました。

8 「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

名古屋市社会福祉協議会事業である「千種区西部いきいき支援センター」(地域包括支援センター)と「千種区介護保険事業所」と協力、連携しながら、千種区の地域福祉の向上に努めました。

主な事業の内訳 ※() は昨年度実績

1 「第4次地域福祉活動計画」(第4次計画)の推進

グループ名	会議開催回数等	推進委員数
きっかけ	7回 (5・6・8・10・11・1・3 月)	11人
ひと	8回 (5 月・11 月各 2 回、6・8・10・1 月)	11人
つながり	8回 (4・5・6・8・9・10・11・1 月)	17人

※推進委員会全体会(3つのグループの合同会議)は、2回開催(5月20日、11月25日)し、各グループの進捗状況報告、今後の展開等を話しを行った。

2 「地域福祉活動」の推進

事業名	実施日	内訳等
ふれあい給食サービス事業 【14学区で実施】	通 年	・実施回数:会食 23 回(10)、配食 79 回(69) ・延参加者数:配食 6,709 名(6,322) お弁当持ち帰り方式 1,024 名(406)

地域支えあい事業 【6 学区で実施】	通 年	学区	区分	実績等
		千代田橋 ※ボランティアポイント 2,072(2,619)	連絡会議	3 回(2)
			開設日数	85 日(93)
			生活支援	42 件(43)
			活動延人数	578 人(484)
		自由ヶ丘 ※ボランティアポイント 2,603(2,173)	連絡会議	3 回(2)
			開設日数	78 日(81)
			生活支援	108 件(66)
			活動延人数	520 人(418)
		富士見台 ※ボランティアポイント 4,998(3,609)	連絡会議	3 回(3)
			開設日数	104 日(105)
			生活支援	35 件(229)
			活動延人数	3,708 人(2,035)
		春 岡 ※ボランティアポイント 473(155)	連絡会議	3 回(2)
			開設日数	59 日(52)
			生活支援	28 件(5)
			活動延人数	137 人(17)
		内 山 ※ボランティアポイント 1,399(176)	連絡会議	3 回(3)
			開設日数	103 日(23)
			生活支援	55 件(4)
			活動延人数	393 人(53)
		千石 ※ボランティアポイント 715	連絡会議	3 回
			開設日数	19 日
			生活支援	1 件
			活動延人数	253 人
高齢者サロンの整備等 生活支援推進事業	通 年	サロン設置状況(把握件数) 107 ケ所(高齢 46、共生 21、子育て 20) (子ども食堂 7、認知所カフェ 13) (92)		
サロン相談支援	通 年	・相談件数 227 件(新規:87 件、継続 140 件) (70 件 新規 33、継続 37) ・助成申請 開設助成 4 件(3) 運営助成 66 件(58)		

運営者研修	7・12・2 月	・第1回 認知症予防講演会(7/29)【参加者:13名】 (内容)認知症予防リーダーによる体操、折り紙等 ・第2回 フレイル予防講演会(12/7)【参加者:26人】 (内容)国立長寿医療研究センターによる講演 フレイル対策、介護予防体操紹介等 ・第3回 防犯対策講演会(2/27)【参加者:17名】 (内容)千種警察署による講演 詐欺等にあわない対策、補助鍵の取付方法等
生活支援連絡会	5・9・1 月	委員数 13 人
高齢者はつらつ長寿推進事業	通 年	8 会場で前期(4～9 月)・後期(10～3 月)で開催。 「はつらつだより」を 2 回発行。 ・実施回数:385 回(110) ・延参加人数:6,848 人(1,981)
寝具クリーニングサービス事業	11月	145 人 (161 人)
キラキラ☆サンタ事業	12月	子育てサロン等 13 ケ所、プレゼント配付数 170 個 (12 ケ所、140 個)
名古屋市いこいの家事業	通 年	千種児童館週 2 日、守山児童館週1日開催 延参加者数: 1,921 人(1,233)
福祉関係団体等の支援 (赤い羽根共同募金財源) ※詳細は、赤い羽根データ ベースはねっと」(URL http://hanett.akaihane.or.jp/)	通 年	・高齢者福祉活動(学区敬老事業、ふれあい給食事業) 【2,666,900 円(27 件)】 ・障がい児・者活動(手をつなぐ育成会等が行う事業) 【176,000 円(5 件)】 ・児童・健全育成活動(子ども会活動、保育園事業、学 童保育所の運営)【616,606 円(6 件)】 ・住民全般福祉活動(推進協事業) 【2,036,936 円(16 件)】 ※上記のほか、「ボランティア・NPO 応援助成事業」と して、ボランティア団体など6団体へ約20 万円助成。

3 「ボランティア活動」の推進

事業名	実施日	内訳等
ボランティアセンターの運営	通 年	・ボランティア相談 30 件(16) ・ボランティア登録 3,038 人(3,491) ・ボランティア活動保険 1,980 人(2,154) ・ボランティア行事用保険 13,975 人(12,752)
在宅サービスセンターの利用状況	通 年	・研修室 397 件、8,615 人(308 件、6,714 人) ・ボランティアルーム 355 件、3,053 人 (295 件、2,537 人) ・点訳室 96 件、115 人 (83 件、100 人) ・録音室 305 件、1,007 人(295 件、974 人) ・調理実習室 25 件、575 人(37 件、851 人)
福祉教育	通 年	実施校 8 校 延参加人数 880 人(6 校、639 人)

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

事業名	実施日	内訳等
広報誌の発行	7、11、 3 月	発行総数 22,300 部 (24,600)
ホームページとInstagram	通 年	ホームページアクセス数 11,862 (12,662) Instagramフォロワー数 4,119(3,419)
賛助会費 ※個人1口 500 円 法人・団体 1 口 5,000 円	通 年	・個人会員 2,313 人、1,710,828 円 (2,440 人、1,818,878 円) ・法人・団体会員 229 件、2,582,500 円 (220 件、2,553,100 円) <u>合計 4,293,328 円 (4,371,978 円)</u>
寄付金	通 年	11 件、694,750 円(2 件、206,931 円)
赤い羽根共同募金	10 月～ 12 月	・一般募金 9,052,489 円(9,106,431 円) ・歳末募金 1,052,610 円(1,037,047 円) <u>合計 10,105,099 円 (10,143,478 円)</u>

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

事業名	実施日等	内訳等
生活福祉資金貸付事業	通 年	・相談件数 185 件(86) ・新規貸付件数 5 件 3,138,000 円 (3 件 513,000 円) ・管理件数等 92 件 57,705,715 円 (93 件 68,319,675 円)
特例貸付事業 ※令和 2 年 3 月 25 日 ～令和 4 年 9 月 30 日	～9 月 30 日	・緊急小口資金(貸付上限額:20 万円) 139 件 27,170,000 円 (543 件 104,810,000 円) ・総合支援資金(貸付上限額:単身月 15 万円、二人以上月 20 万円。) 111 件 58,650,000 円 (1,090 件 560,832,000 円)

6 「デイサービスセンター」の運営

通所介護事業				
	介護保険サービス		要介護 5	35 人 (0)
			〃 4	149 人 (249)
			〃 3	727 人 (954)
			〃 2	1,188 人(1,824)
			〃 1	1,822 人(1,688)
			要支援 2	823 人 (825)
			〃 1	156 人 (199)
	介護予防・生活支援サービス	予防専門型通所	事業対象者	87 人(98)
		ミニデイ型通所	〃	0 人 (0)
		延利用人数		4,987 人(5,837)

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営

(1) 都福社会館

福祉会館の管理・運営					
・年間開館日数 293 日 (135)	個人利用		団体利用	合計	
	延 人 数		10 人 (0)	2,974 人 (1,216)	
	内 訳	趣味講座等	1,730 人(1,045)		
		交流会等	0 人(0)		
		相 談	10 人(0)		
		その他	1,234 人(161)		

認知症予防事業【委託事業】	
事 業 名	延人数
認知症予防教室 ※3クラス(1クラス定員7名)を半期ごと、週1回実施	368 人(305)
認知症予防リーダー養成講座 ※全8回のうち、5回(1クール定員5名)の講座を福祉会館が担当	25 人(13)
認知症予防リーダー派遣	派遣 39 人(12) 参加 231 人(49)

(2)千種児童館

児童館の管理運営			
・年間開館日数 293 日(293) ・総利用人数 51,406 人 (42,411)	内容区分	区分	延人数等
	館内遊び場利用	幼 児	8,739 人(9,281)
		小学生	7,485 人(5,319)
		中学生	1,285 人(1,308)
		高校生	249 人(152)
		その他	8,882 人(9,217)
		計	26,640 人(25,277)
	団体利用(19団体)	回 数	102 回(150)
		延人数	1,259 人(1,574)
	健全育成事業 (行事、プチイベント)	回 数	2,379 回(1,403)
		延人数	13759(6,420)
	館外事業 (移動児童館等)	回 数	12 回(9)
		延人数	353 人(238)
	クラブ活動(13 クラブ)	開催回数	289 回(269)
		延人数	6,148 人(5,218)
	留守家庭児童クラブ	延登録者数	242 人(301)
		延人数	2,885 人(3,333)
中学生の学習支援事業			
【委託事業】	区分	登録者数	延人数
	学習サポーター	10 人(10)	71 人(74)
	利用児童 (ひとり親世帯等の中学生)	6 人(3)	196 人(142)
高校生の学習継続支援事業等			
【委託事業】 ①高校生の学習継続支援 ②家庭訪問型相談支援事業との連携	区分	登録者数	延人数
	学習サポーター (中学生の学習支援と兼ねる)	10 人(10)	48 人(12)
	利用児童 (中学生の学習支援の卒業生)	4 人(6)	144 人(109)

8 「名古屋市社会福祉協議会」への協力

(1) 千種区西部いきいき支援センター(地域包括支援センター)への協力

事 項	実施日等	主 な 内 容
地域包括ケア 推進会議	6月23日 3月2日	保健・医療・福祉に関わる団体が、地域包括支援ネットワークを構築し、高齢者の支援を進めるための協議を行う。
相談事業	通 年	総合相談・権利擁護 753 件(707) 包括的・継続的マネジメント 400 件(262)
介護予防支援、 介護予防ケアマ ネジメント(要支 援1・2、事業対 象者の介護予防 計画)	通 年	延利用者数 10, 272人(10,449) ・いきいき支援センター作成分 3, 043人(3,080) (要支援 1:966人 要支援 2:1,748人 事業対象者:329人) ・居宅介護支援事業者委託分 7, 229人(7,369) (要支援 1:1,945人 要支援 2:5,021人 事業対象者:263人)
ケアマネサロン	5月20日 6月17日 8月19日 10月21日 12月16日 1月20日 2月17日	ケアマネジメント支援業務の一環として居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にスキルアップとネットワークづくりを目的とした研修会および交流会を企画・実施。 【研修会内容】 ●ケアマネを対象とした勉強会の企画作り(5月) ●アルコール依存症の方への対処方法を学ぶ(6 月) ●法律問題やクレーム対応について(8 月) ●ケアマネジャー視点で考える防災知識(10 月) ●消費者被害について(12 月) ●主任ケアマネとしてこれからを考える(1 月) ●高齢者の避難のタイミングと避難場所～台風編～(2 月) 参加延人数 150 人(229)
医療講座(医療 と介護の連携)	7月13日 11月22日	職員の資質向上に加え、他の介護関係事業所も交え、医療知識の向上や医師との顔の見える関係づくりを目的に、区内の医師を講師に招き、医療講座を開催。 於 在宅サービスセンター、Zoom 参加延人数 43人(49)
学区小地域ケア 会議	5月16日 7月11日 9月12日 11月21日 1月16日 3月20日	ケアマネジャー、サービス事業者、関係団体、民生委員・児童委員、一般住民等による「地域包括支援ネットワークの構築」を目指して、小学校区を単位とした「小地域ケア会議」を開催。 高見学区(於 乗西寺) 6 回(3) 参加延人数 45 人(28)
見守り支援事業	通 年	・通 報 件 数 17 件(19) ・電話、面接件数 459 件(906) ・本人宅訪問延件数 120 件(128) ・支援ネットワーク構築件数 11 件(14)

介護予防・家族支援事業	年 間	認知症家族教室」10回(上半期5回、下半期5回)開催(10) 於 千種区役所(上半期) MOBILITY GATE 吹上(下半期) 参加延人数 77人(57)
	年 間	家族サロン」12回開催(10) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 94人(80)
	年 間	「医師による専門相談」11回開催(11) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 14人(20)
	年 間	認知症サポーター養成講座」17回開催(15) 於 在宅サービスセンター他 参加延人数 242人(198)
認知症初期 集中支援チーム	年 間	支援対象者 24人(28) 支援状況 ・個別訪問 60回(93) ・本人及び家族との連絡 128回(178) ・来所相談 6回(5) ・関係機関との連絡 163回(270) ・チーム員会議開催 19回(21) ・チーム員会議で検討した延ケース数 95回(119)

(2)千種区介護保険事業所への運営協力

①訪問介護(なごやかヘルプ)事業

区 分		延利用者数	派遣回数	延時間数
介護保険サービス(要介護・要支援)		2,203人 (1,180)	11,061回 (13,231)	11,489時間 (13,822)
予防専門型・生活支援型(事業対象者)		1,824人 (1,255)	7,010回 (8,008)	6,562時間 (7,559)
障害福祉サービス		745人 (726)	6,768回 (6,316)	8,816時間 (8,491)
措置等		0人(132)	0回(229)	0時間(179)
合 計		4,772人 (3,293)	24,839回 (27,784)	26,867時間 (30,051)

②居宅介護支援事業

支援計画(ケアプラン)の作成		
区 分	対象者	延人数
介護保険サービス	要介護5	200人(164)
	〃 4	287人(273)
	〃 3	523人(580)
	〃 2	911人(922)
	〃 1	987人(920)
	要支援2	239人(297)
	〃 1	80人(52)

	介護予防・生活支援サービス	要支援1・2	196 人(260)
		事業対象者(区分未認定)	14 人(13)
要介護認定調査			50 人(47)

【法人運営の状況】

事 項	開催日等	内 容
第98回理事会	6月6日	○出席者:理事13名 監事1名 顧問1名 ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定 ・役員の一部選任にかかる候補者の提案 ・諸規程の一部改正 ・役員等賠償責任保険契約の加入 ・令和3年度事業報告・資金収支決算 ・会長の職務執行状況(令和3年度下半期) ・千種児童館の管理業務に関する基本協定書の一部変更 ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる委託契約書 ・名古屋市いこいの家事業にかかる委託契約書
第10回評議員選任・解任委員会	6月6日	○出席者:委員3名 ・評議員の選任
第84回評議員会	6月24日	○出席者:評議員34名 理事4名(会長、副会長2名、総括理事) 監事1名 顧問1名 ・役員の一部選任 ・令和3年度事業報告・資金収支決算
第99回理事会	12月7日	○出席者:理事12名 監事2名 顧問1名 ・会長・副会長の選任 ・評議員選任・解任委員会委員の一部選任 ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定 ・理事の一部選任にかかる候補者の提案 ・諸規程の一部改正 ・会長の職務執行状況(令和4年度上半期) ・会員の入会 ・第4次千種区地域福祉活動計画の進捗状況
第85回評議員会	12月7日	○出席者:評議員28名、理事3名(会長、副会長、総括理事) 監事2名 顧問1名 ・理事の選任 ・第4次千種区地域福祉活動計画の進行状況
第11回評議員選任・解任委員会	1月13日	○出席者:委員4名 ・評議員の選任
第100回理事会	3月6日	○出席者:理事14名 監事2名 顧問1名 ・諸規程の一部改正 ・令和5年度事業計画・資金収支予算 ・令和5年度評議員会の招集 ・令和5年度評議員選任・解任委員会の招集 ・第5次千種区地域福祉活動計画の策定方針

		・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結
第86回評議員会	3月6日	○出席者：評議員34名、理事3名（会長、副会長、総括理事） 監事2名 顧問1名 ・令和5年度事業計画・資金収支予算 ・第5次千種区地域福祉活動計画の策定方針